ウミオウムの保護飼育

風 間 辰 夫

The Second Record of Parakeet Auklet *Cyclorhynchus psittacula* in Niigata Prefecture

Tatsuo Kazama*

Abstract. A Parakeet Auklet *Cyclorhynchus psittacula* was protected at Kasiwazaki City on December 27, 1984 and was accommodated to Bird Rescue Center of Maki-Machi, Niigata Prefecture. Four days later, it was dead. This is the second record of this species in Niigata Prefecture.

1984 年 12 月 27 日, 新潟県柏崎保健所へウミオウム *Cyclorhynchus psittacula* の保護依頼があり, 新潟県傷病鳥救護舎で保護飼育したが 4 日目に落鳥した。

本種が保護されたのは日本で初めてであり, へい死体の報告及び渡来状況については新潟県柏崎で現認した (風間 1968a)。

1. 発見日時, 場所: 1984 年 12 月 27 日午前 10 時頃, 新潟県柏崎市大久保 1 丁目地内の道路上。

2. 鳥体の状況: 体重 165 グラムであり, 非常にやせていた。

各部の測定値は, 嘴峰長 16 mm, 跗蹠長 27 mm, 翼長 148 mm, 尾長 47 mm。

3. 飼育状況: 本種の飼育は日本で初めてである。ウミオウムを保温し, 冷凍ワカサギを切って, これにパンビタンを混ぜ 1 日 30~50 グラムを与えたが体重は増加せず 4 日目の午前 11 時頃落鳥した。

考 察

本種の冬期の分布域についてはまだ不明の点が多い。日本では新潟, 宮城, 北海道で記録されている。

今回の記録は風間 (1968a, b) がすでにのべているように冬期におけるウミスズメ科の種の日本海側の越冬地が新潟県の海上であることを証明するものであり, このウミオウムは 1984 年 12 月 22 日から新潟県を襲った大寒波のため陸地に飛ばされて, 地上に落下したものである。

参 考 文 献

風間辰夫 1968a. ウミオウムの渡来, 採集と飼育 30: 264-266.

Received 18 February 1985

* 6-5-22 Sakai-Higashi, Niigata City 950-21.

風間辰夫 1968b. 新潟県柏崎付近の鳥類について, 山階鳥研報 5: 370-396.

風間辰夫: 〒950-21 新潟市坂井東 6-5-22